

各 位

浦安鐵鋼団地協同組合  
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表  
(2026年05月分)

ご協力ありがとうございました。2026年5月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 140 回答 132 回答率 94.3%

調査項目	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上昇・好況	やや 増加・上昇・好況	横這い・平常	やや 減少・下降・不況	10%以上 減少・下降・不況	
売上数量	9社	14社	51社	38社	20社	132社
	6.8%	10.6%	38.6%	28.8%	15.2%	
	(15.8)	(15.0)	(38.3)	(19.5)	(11.3)	
売上高	8社	17社	49社	37社	21社	132社
	6.1%	12.9%	37.1%	28.0%	15.9%	
	(15.8)	(16.5)	(33.1)	(23.3)	(11.3)	
在庫数量	11社	19社	63社	27社	7社	127社
	8.7%	15.0%	49.6%	21.3%	5.5%	
	(7.8)	(15.6)	(51.6)	(18.0)	(7.0)	
販売単価	5社	29社	72社	19社	7社	132社
	3.8%	22.0%	54.5%	14.4%	5.3%	
	(3.8)	(18.2)	(53.8)	(22.0)	(2.3)	
収益状況 (粗利)	11社	23社	57社	29社	11社	131社
	8.4%	17.6%	43.5%	22.1%	8.4%	
	(16.7)	(17.4)	(37.1)	(20.5)	(8.3)	
稼働率 (生産・加工設備)	4社	15社	63社	26社	8社	116社
	3.4%	12.9%	54.3%	22.4%	6.9%	
	(6.8)	(12.7)	(50.0)	(22.9)	(7.6)	
入出庫の トラック台数	3社	14社	73社	30社	9社	129社
	2.3%	10.9%	56.6%	23.3%	7.0%	
	(6.3)	(11.7)	(53.1)	(23.4)	(5.5)	
現在の 景況感	0社	5社	59社	49社	18社	131社
	0.0%	3.8%	45.0%	37.4%	13.7%	
	(0.0)	(6.1)	(43.9)	(31.1)	(18.9)	
3ヶ月後の 景況予測	0社	4社	91社	31社	3社	129社
	0.0%	3.1%	70.5%	24.0%	2.3%	
	(0.8)	(6.8)	(59.1)	(27.3)	(6.1)	
特記事項						

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります  
②( )内の数字は前月のパーセントです  
③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は  
特記事項欄に別途記載いたします  
④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください  
事務局 TEL : 047-350-5311 FAX : 047-350-5316

# 景況実感調査(2026年5月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

【お断り】寄せられたコメントは、各社担当者の現場の声です。個々の会社固有の状況にもとづくものも多々あります。業界全体及び浦安鉄鋼団地全体の見解とは必ずしも一致しませんので、お含み置き願います。また、不穏当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

## 薄板・表面処理鋼板

- ① 中東情勢の長期化により、原材料の調達不安が一段と強まっている。需要家の慎重姿勢が広がり、トラック向け案件、店売りともに動きは弱含み。特に店売りでは、メーカーから追加値上げの動きが続き、値上げは避けられない状況にあるものの、需要が鈍く価格転嫁が進みにくい局面となっている、外部環境の不透明感が続く中、市況は全般的に軟調で、当面は情勢を注視しながらの需給判断が続く見通しである。
- ② 5月は稼働日が少なかったが、日当り販売量では、前年同月比で見ても前月比で見ても10%以上多かった。値上げ前の仮需が多少起こっているのだと思うが、先行きは、中東情勢の影響で副資材品が入手困難なことから、需要は更に縮小する恐れあり。

## 中板

- ① 中板は需要面に大きな変化はなく、引き合いは低調。連休明けも引き合いは閑散としている。市況はメーカーの値上げ発表以降、鉄鋼団地内の仲間売りは強含みで安値は早々に切り上がる。一方で三次店・ユーザー売りは需要不振から各社慎重な対応が見られるものの、値上げ玉の入荷を見据え少しずつ上伸している。

## 厚板

- ① 紐付き、店売り共に特段変化なく低位横這いとなっている。
- ② 建設機械向けは、中東情勢の不安定により、売上が減少している。店売り関連は、資材高騰、人手不足の影響もあり、売上の減少状態が続いている。
- ③ 4月に値上げ前の仮需があった。5月はGW明けと4月の反動で落ち込みが大きかった。量を売りたいが、価格転嫁も必要なので、様子を見ながら販売している。

## 一般形鋼・H形鋼

- ① 中東問題によって現場が遅れてきている。シーリング材、錆止め等が入らず、材料が上がってしまって現場を取ることが難しくなっている。

- ② マーケットの値上げの本格化で、3、4月は需要の先食いが起こったと認識。5月出荷の反動減は想定内。まだまだ転嫁は道半ば。日々のお荷動向に臆している場合ではなく、とにかく転嫁速度を上げねば立ち行かない状況が目に見えており、採算確保に注力する。
- ③ とにかく、売上数量の減少が顕著である。建築、製造業関連で小口ばかりの注文である。6月もナフサ調達難で、更に輪をかけるのではないか。
- ④ 足元は案件が少ないが、値上げ局面であることに変わりがないため、踏ん張って商売をしていく。

#### 異形棒鋼

- ① 6月に入ってメーカーの値上げで価格は少し上がったが、需要は少なく低位横這い。
- ② 値上げ前の仮需が一部見られるが、昔ほどの勢いはない。荷動きは変わらず低位横這い。先行きも見通せず、現状維持に努めるしかない。
- ③ メーカーの値上げが浸透しており、在庫販価は2回値上げを実施した。荷動きは非常に悪いが、価格転嫁はまだ道半ばなので、更なる値上げを実施していくつもりである。

#### 平鋼

- ① 5月の店売り倉出しは、値上げ前の仮需で在庫の補充が見られたが、以前のような購入ではなく、必要最低限の在庫補充に留まっている。6月以降もメーカーの値上げに対する価格転嫁を進めていくが、荷動きが悪い中での価格転嫁なので、慎重に進めていく。社内加工も建築需要の低迷もあり、1物件の受注数量も少なく、小ロット短納期が多数あり、忙しいが数量は伸びない。秋以降の案件も話は聞いているが、シンナーや塗料等の流通量減少もあり遅れが見込まれるので、情報収集をしっかりとやっていく。
- ② メーカーの値上げのための仮需が増加。建築物件は相変わらず少ない。年末から年始にかけて多少物件が出てきそうである。

#### 軽量形鋼

- ① 受注量は低位横這いが継続。6月以降、地域差はあるものの、増加傾向はうかがえる。

#### 鋼管

- ① 今後の値上げの影響を注視していきたい。
- ② 品種毎で価格改定（値上げ）しているが、仮需は見受けられず、出荷数量は年初から特に変わりはなく、しばらくはこの様な状況が続くと思われる。

## 構造用鋼

- ① メーカー各社で値上げが進み、一部では追加値上げの動きも見られる。ただ、メーカーの値上げ発表が金額ベースとなっており、パーセンテージではないため、価格転嫁する際の判断が難しい。
- ② 需要は自動車一部を除き低位横這い。建機は調整が底を打った様子で回復基調。産機は横這い。工作機械は堅調。店売りは若干数量が上向く。在庫は大きくは変わらず適正水準。価格は各メーカーの値上げを受け、夏ごろを目処に、流通コスト上昇分を含めた価格転嫁をしていく状況。

## 磨棒鋼

- ① 自動車向け紐付き品は、引き続き横這い。今後も大きな変動は見られない模様。建機向けは若干の回復傾向が継続中。小口店売りは変わらず安定。素材価格の値上げ、諸コスト上昇に伴い、5月以降の出荷分より順次価格改定を進めていく。

## ステンレス

- ① 日本製鉄は5月契約分よりにニッケル系で1万円、クロム系で5千円値上げした。昨年8月以降の累計値上げ幅は、ニッケル系で8万円、クロム系で3.5万円となる。ユーザーには値上げをお願いする日々が継続する。中東情勢の影響も出ており、ストレッチフィルムや表面保護フィルムの入手が困難となっている。代替品を提案しながら案件に対応している。

## その他

### <スクラップ>

- ① 高値を維持しているスクラップ相場だが、5月中旬以降から輸出向け契約は消極的となり、市況は軟調傾向。市中発生は依然として低調。国内外ともに積極的な購買意欲は感じられない。

### <金属表面処理>

- ① 5月は紐付き、物件物をベースに前月同様の操業となった。スポット案件は塗料メーカーの供給制限が継続しており、納期は指定塗料の入荷次第を条件に受注している。塗料・シンナーの値上げ通達が毎月のようにメーカーから来ており、加工賃への転嫁必至の状況にて、顧客へ説明しながら加工賃値上げのご理解を得ている。